

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目
科目コード:200003

データ分析方法論 Data Analysis for Nursing Research

担当教員	小林 宏光、米田昌代				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	量的研究、質的研究				
学習目的・目標	学習目的: 看護研究を行う上でのデータ処理の考え方や手法について教授する。 学習目標: 1. 量的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。 2. 質的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1~4	研究における統計的手法の必要性、歴史的背景 研究デザインの考え方			講義	小林
5~6	エクセルを用いたデータ分析・統計的処理の具体的手法の解説 ・基本操作 ・記述統計			講義・演習	小林
7~8	エクセルを用いたデータ分析・統計的処理の具体的手法の解説 ・有意差検定 ・分散分析の解釈			講義・演習	小林
9~11	質的研究における分析の考え方と分析手法 ・質的研究の分析プロセスの特徴 ・分析する上での注意点・倫理的課題 ・グループでの分析の大切さと方法 ・各研究プロセスで注意すべきことと手順 ・コーディング・カテゴリー化の手順			講義・演習・討論	米田
12~14	逐語録の読み方の実際 コーディング・カテゴリー化の実際			討論・講義・演習	米田
15	質的データ分析の厳密性 質的データ分析のスーパービジョンの受け方 質的データを用いた研究のまとめ方 ・論文執筆 ・プレゼンテーション			討論・講義・演習	米田
教科書					
参考図書等	1. 大木秀一:量的な看護研究のきほん 医歯薬出版 2. 大木秀一:文献レビューのきほん 医歯薬出版 2013 3. グレグ美鈴他:質的研究の進め方・まとめ方 質的研究のエキスパートをめざして、医歯薬出版株式会社、2007 4. 萱間真美:質的研究実践ノート 研究プロセスを進めるclueとポイント、医学書院、2007				
評価指標	授業への参加状況とプレゼンテーション(およびその資料)(100%) 各教員の講義回数に応じて配点する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					